

オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵

メアリー・エインズワース浮世絵コレクション — 初期浮世絵から北斎・広重まで

2019年8月10日(土)—9月29日(日)



- ①《縁先美人(見立無間の鐘)》 鈴木春信 明和4年(1767)頃
- ②《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》 歌川広重 安政4年(1857)
- ③《富嶽三十六景 凱風快晴》 葛飾北斎 天保2-4年(1831-33)頃

アメリカ・オハイオ州にあるオーバリン大学のアレン・メモリアル美術館には、アメリカ人女性メアリー・エインズワースが寄贈した1500点以上の浮世絵版画が所蔵されています。このコレクションは、明治39年(1906)のエインズワースの来日を契機に始められたもので、初期から幕末まで浮世絵の歴史をたどることができるうえ、鈴木春信や喜多川歌麿など有名浮世絵師の名品を含む優れた内容となっています。特に世界でも稀少な初期の浮世絵版画や、葛飾北斎、歌川広重の作品は質・量ともに注目されるでしょう。

この珠玉のコレクションは、これまで一部の浮世絵研究者の間では注目されていましたが、アメリカにおいてもあまり紹介される機会がありませんでした。本展覧会は、現地での作品調

査をもとに選りすぐりの200点を展示するもので、その全容を日本に紹介する初めての里帰り展となります。



メアリー・エインズワースとは

- 1867年 アメリカ・イリノイ州で生まれる。
- 1885年 オーバリン大学に入学。
- 1889年 オーバリン大学を卒業。
- 1906年 来日して浮世絵に出会い収集を始める。
- 1950年 83歳で死去。遺言により、コレクションをオーバリン大学に寄贈。

メアリー・エインズワースは、アメリカでも早くに浮世絵の収集を始めたコレクターの1人です。浮世絵のコレクターの多くは男性ですが、エインズワースは彼らに肩を並べる女性コレクターとして知られていました。日本において昭和13年(1938)に出された番付表「古今東西浮世絵数寄者総番付」にもフェノロサ、ゴンクール、バーナード・リーチといった著名人とともにその名前が掲載されています。

フェルメール展

2019年2月16日(土)—5月12日(日)

ヨハネス・フェルメール(1632-75)はオランダ黄金時代を代表する偉大な画家のひとりです。その静謐で美しい画面に世界中のファンが魅せられています。今回の展覧会では珠玉のフェルメール作品とともに、同時代のオランダ絵画をジャンルごとにご紹介いたします。フェルメール作品が生まれた背景とその特質をご理解いただけることでしょう。

今回出品されるフェルメール作品は彼の足跡をたどることのできる作品がそろいました。《マルタとマリアの家のキリスト》はフェルメー



ルの最初期の宗教画です。《取り持ち女》は宗教画から風俗画へとスライドする過渡期の作品で、今回の展覧会が日本における初公開です。《リュートを調弦する女》《手紙を書く女》《手紙を書く婦人と召使い》はフェルメールらしい柔らかな光に包まれた佳品、そして《恋文》は大阪会場だけで展示されます。2000年に当館で開催されて以来となる大阪における久々のフェルメール展。この機会をどうぞお見逃しなく。

《手紙を書く女》 ヨハネス・フェルメール 1665年頃
ワシントン・ナショナル・ギャラリー